

第29回全国男子駅伝 大会予想と資料

1 優勝・上位争い 予想のポイント

- ① 1・2区にスピードがあり、安定した力を持つ選手を配置でき、最初から先頭集団に加われるかどうか
- ② 3区的一般選手区間が重要で、前半無理をしても後半もねばれる選手がいるかどうか
- ③ 4・5区の高校生区間に調子のよい選手を配置することができるか
- ④ 7区にスピードと安定性を持ち、かつラストスパートに自信を持つ選手を起用できるか(近年アンカーでの逆転も増えてきている)

過去の優勝チーム区間通過順位表

回	チーム名	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	7区走者	2位との差(秒)
1	広島	37	17	4	5	4	4	1	国近智昭	6
2	京都	13	15	4	2	3	3	1	高川内勝弘	35
3	福兵	5	1	1	1	1	1	1	小島船忠	51
4	兵庫	4	6	5	5	2	2	1	入野裕一	24
5	鹿児島	13	7	2	4	1	1	1	渡邊敏聰	57
6	愛媛	3	2	1	1	1	1	1	大津賢典	53
7	福岡	2	3	4	1	1	1	1	尾田秀一	50
8	福岡	3	3	2	2	1	1	1	帯刀秀幸	100
9	長野	2	2	5	5	1	1	1	上野裕一	5
10	長野	1	1	3	3	2	2	1	佐藤悠基	2
11	長野	10	8	2	2	1	1	1	北村秀聡	48
12	兵庫	9	2	1	1	1	1	1	帯刀秀幸	93
13	長野	3	2	1	1	1	1	1	上野裕一	13
14	長野	3	1	4	2	1	1	1	竹澤健介	80
15	兵庫	2	2	13	4	4	4	1	宇賀地強	3
16	兵	1	2	7	1	2	2	1	竹澤健介	31
17	兵庫	1	1	7	4	7	5	1	北野圭吾	22
18	兵庫	1	1	7	4	7	5	1	矢野大平	5
19	長野	14	6	1	3	3	3	1	山本修平	35
20	埼玉	6	1	2	1	1	1	1	上野裕一	24
21	愛媛	14	8	2	1	1	1	1	設楽悠太	31
22	長野	2	7	4	1	1	2	1	相澤晃	19
23	埼玉	10	6	6	2	5	4	1	中谷雄飛	46
24	福島	4	5	7	3	1	2	1	中谷雄飛	35
25	長野	10	4	15	8	3	1	1	上野裕一	17
28	長野	2	3	4	1	1	1	1	上野裕一	25

- ・ 過去26大会の結果から見ると、5区終了時点でトップの場合、優勝確率は58%
- ・ さらに、5区でトップであればフィニッシュタイムが2位との差も大きい
- ・ 反対に7区アンカーでの逆転劇は12回(確率48%)
- ・ 10秒以内での決着は5回(最少は10回大会の2秒差)

25回大会から見てみると

・25回大会はシューズの効果か1区から高速レースを展開、5チームが大会記録を更新
区間新も2区間で8つ誕生した

25回 2020年	1区 順位	2区 区間	3区 区間	4区 区間	5区 区間	6区 区間	7区 区間	総合 順位	アンカー選手 競技者名	記録
長野	10	3	27	2	4	1	2	1	中谷雄飛	37:18
兵庫	15	1	15	13	9	3	4	2	延藤潤	37:27
埼玉	11	10	12	1	7	24	3	3	設楽悠太	37:20
佐賀	8	2	4	19	13	12	17	4	井手孝一	38:02
静岡	7	8	13	29	22	5	5	5	伊藤達彦	37:33
茨城	5	3	17	16	5	34	18	6	細谷恭平	38:03
熊本	4	30	25	17	8	9	9	7	赤崎暁	37:46
三重	26	8	7	11	14	42	8	8	塩澤稀夕	37:38
宮城	1	33	23	5	6	31	12	9	村山紘太	37:55
千葉	16	11	26	32	3	15	18	10	浅岡満憲	38:03

28回大会から見てみると

・28回大会も高速レースを展開、優勝した長野チームが大会記録を更新
区間新も3区間で4つ誕生した

28回 2023年	1区 順位	2区 区間	3区 区間	4区 区間	5区 区間	6区 区間	7区 区間	総合 順位	アンカー選手 競技者名	記録
長野	2	23	8	1	1	3	12	1	上野裕一	38:11
埼玉	7	10	14	2	3	5	2	2	萩久保寛也	37:36
東京	8	11	11	3	6	8	7	3	嶋津雄大	37:50
千葉	10	6	5	3	4	10	23	4	椎野修羅	38:33
岡山	4	21	10	6	4	16	15	5	岡本雄大	38:17
京都	5	5	4	6	17	33	3	6	西研人	37:38
広島	23	4	7	10	7	4	4	7	相葉直紀	37:42
兵庫	1	1	16	23	2	5	33	8	藤本珠輝	38:57
宮城	22	13	2	8	27	10	25	9	吉居駿恭	38:38
茨城	26	2	26	14	10	16	16	10	鈴木聖人	38:18

総合力

評価A(優勝を争うチーム) 長野、千葉、兵庫、岡山、大阪

評価B(上位入賞が狙えるチーム) 鹿児島、宮崎、茨城、東京、福岡、広島

大阪の葛西、小林はニューイヤー駅伝で快走。上位進出のカギになる。

高校生区間が充実している長野、千葉、兵庫、岡山が前半を制しそう。

この4チームに都大路を走っていない鹿児島(出水中央)の選手が喰らいつけるか。

広島は絶対的エースは居ないが、高校生が安定している。箱根駅伝で明暗が分かれた大学生の走りに期待。

最年長

39歳7ヵ月 鳥取・岡本 直己(中国電力)

最年少

13歳10ヵ月 福井・向岩 玖恩(陽明中)、香川・赤松 新太(小豆島中)

双子・兄弟

5.秋田県 兄:高橋 銀河(神奈川大) 弟:高橋 楓河(秋田工高)

19.石川県 兄:若狭凜太郎(創価大) 弟:若狭 怜士(中能登中)

33.岡山県 兄:黒田 朝日(青山学院大) 弟:黒田 然(玉野光南高)

38.愛媛県 兄:千守 倫央(大塚製薬) 弟:千守 尋大(松山商高)

39.高知県 父:大和田賀仁 子:大和田 春(大手前高)